

Photo

島根半島の海岸に生息する甲虫類 (2) ババチビドロムシ

林 成 多

ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5

ババチビドロムシ *Babalimnichus masamii* M. Sato は, 体長 2.0 mm ほどのチビドロムシ科に属する海岸性甲虫である。国内では, 南西諸島を中心に本州まで広く分布している (新井ほか, 2004)。本州の日本海側では, これまで記録がなかったが, 河上・林 (2007) により, 島根半島の岩礁地帯に生息していることが報告された。



写真 岩礁の窪みで静止するババチビドロムシ

2006 年 7 月 31 日 18 時 08 分, 出雲市坂浦町の海岸にて撮影。本種は日中, 岩の割れ目に潜んでいる場合と, 岩の表面を歩行している場合がある。潮位変化が不規則な日本海側では, どのような周期で本種が活動しているのか不明である。本種は跳躍能力に優れており, 驚くと即座に跳躍し, そのまま飛翔して逃げてしまう。

[文献] 新井志保・吉富博之・丸山宗利 (2004) 日本の潮間帯性甲虫。昆虫と自然, 39(12): 21-24.

河上康子・林 成多 (2007) 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究 (2) 島根半島。ホシザキグリーン財団研究報告, (10)。印刷中。